

## 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展

HIGASHIYAMA KAI THE MURAL PAINTINGS IN THE MIEI-DO AT TOSHODAIJI

2021年11月19日（金）—2022年1月16日（日）

### 長野県立美術館でフィナーレをむかえる巡回展

日本画家・東山魁夷の記念碑的大作「唐招提寺御影堂障壁画」全68面を長野県で初公開します。唐招提寺御影堂の全面改修にともない、通常非公開の障壁画を、御影堂内部を部分的に再現した臨場感あふれる特別な展示でご覧いただけます。

### 当館所蔵「白い馬の見える風景」全作を特別展示

東山作品の中でも人気の高い連作「白い馬の見える風景」は、1972（昭和47）年、東山が唐招提寺御影堂障壁画に取り組むかたわら制作されました。ふと風景の中に小さく現れるようになった白い馬は「心の祈り」であったと東山は述べています。

本展では当館が所蔵する全作（本制作4点・習作15点）を一挙公開します。

## 展覧会概要 『東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展』

会 期： 2021（令和3）年11月19日（金）—2022（令和4）年1月16日（日）  
休 館 日： 毎週水曜日、年末年始（12/28—1/3） 開館時間：9時～17時（展示室入場は16時30分まで）  
会 場： 長野県立美術館 展覧会担当： 鈴木幸野・竹花藍子  
主 催： 長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、日本経済新聞社  
特別協力： 唐招提寺 共催： 長野県教育委員会 協賛： 八十二銀行  
後 援： 長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、  
（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社

観 覧 料： 一般 1,500（1,400）円 大学生 1,300（1,200）円 高校生以下又は18歳未満無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金  
※割引の併用はできません ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料  
※本館名品選及び東山魁夷館との共通料金＝一般 2,000円、大学生 1,600円

前 売 券： 1,300円（一般のみ） 前売券販売11月18日（木）まで

プレイガイド：長野県立美術館、ローソンチケット（Lコード＝33417）、セブンチケット（<http://7ticket.jp>）、ホクト文化ホール、キッセイ文化ホール、長野県伊那文化会館、長野県庁内生協売店、長野県内合同庁舎内生協売店（長野・上田・佐久・松本・諏訪・伊那）、信毎メディアガーデン1階まちなか情報局、信濃毎日新聞販売店（お取り寄せ）

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

## 展覧会内容

静謐な抒情性を湛えた風景画により、戦後の日本画壇で高く評価され、今なお多くの人々の共感を得ている日本画家・東山魁夷（1908-1999）。長い画業のなかで、風景との真摯な対話を積み重ね、日本的な自然観に裏打ちされた唯一無二の心象風景を確立しました。

このたび、東山の記念碑的大作である、律宗の総本山、奈良・唐招提寺御影堂の障壁画全68面を一堂に展示します。1971年（昭和46）年から10年もの歳月をかけて制作された本障壁画には、幾多の困難を乗り越えて中国から来日し唐招提寺を開いた鑑真和上への讃仰と崇敬の念を込めて、日本の理想的な自然としての海と山、鑑真和上の祖国である中国の風景が描かれました。

本展では、通常非公開となっている本障壁画を、部分的に御影堂を再現してご紹介するほか、この祈りの風景を構成するために、東山が日本や中国の各地で重ねた取材の軌跡を、当館所蔵のスケッチや下図などから辿ります。あわせて、唐招提寺御影堂障壁画への道程を示す重要な当館所蔵作品の数々を展示します。

唐招提寺御影堂障壁画に取り組みかたわら制作された連作「白い馬の見える風景」から当館の所蔵する全作（本制作4点・習作15点）、障壁画の構想段階でめぐった奈良・大和路を題材とする連作「大和春秋」、障壁画の水墨表現のためのたゆみない研究の道程である《桂林月夜》（1976年）・《黄山雨過》（1978年）・《灘江暮色》（1978年）など、障壁画をめぐる東山魁夷の深い思索をご堪能ください。

## 見どころ

- ・通常、毎年6月6日の開山忌を含む3日間しか拝観できない、日本画家・東山魁夷が10年もの歳月をかけて描いた記念碑的大作・唐招提寺御影堂障壁画全68面を一挙公開します。
- ・唐招提寺御影堂の全面改修にともない、2016年より国内外で開催されてきた巡回展が、長野県立美術館でフィナーレをむかえます。展示室に御影堂内部を部分的に再現し、障壁画を立体的に展示し臨場感を演出します。
- ・当館でも人気の高い連作「白い馬の見える風景」など、障壁画への道程を示す重要な当館所蔵作品を、本展にあわせてご覧いただけます。

## 展示構成

### 序章 唐招提寺と鑑真和上

唐招提寺の歴史と鑑真和上の足跡をパネル展示により概観します。(第1章、第2章では、障壁画68面すべてを臨場感あふれる会場でご覧いただけます。)

### 第1章 御影堂障壁画 「とうせい濤声」「さんうん山雲」

二期に分けられる制作のうち第一期として1975(昭和50)年に奉納した「濤声」「山雲」と、その制作過程であるスケッチや下図を展示します。

- ・「濤声」1975(昭和50)年 紙本・彩色・襖(16面)
- ・「山雲」1975(昭和50)年 紙本・彩色・襖(8面)、床、脇床

### 第2章 御影堂障壁画 「ようしゅうくんぷう揚州薰風」「けいりんげつしょう桂林月宵」「こうざんぎょううん黄山曉雲」

二期に分けられる制作のうち第二期として1980(昭和55)年に奉納した「揚州薰風」「桂林月宵」「黄山曉雲」と、その制作過程であるスケッチや下図を展示します。

- ・「揚州薰風」1980(昭和55)年 紙本・墨画・襖(26面)
- ・「桂林月宵」1980(昭和55)年 紙本・墨画・襖(8面)
- ・「黄山曉雲」1980(昭和55)年 紙本・墨画・襖(8面)

### 第3章 御影堂障壁画への道程

唐招提寺御影堂障壁画に取り組むかたわら制作された連作「白い馬の見える風景」(本制作4点・習作15点)、障壁画の構想段階でめぐった奈良・大和路を題材とする連作「大和春秋」、障壁画の水墨表現のためのたゆみない研究の道程である《桂林月夜》(1976年)・《黄山雨過》(1978年)・《灘江暮色》(1978年)など、当館の所蔵する障壁画関連の作品を展示します。

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてご返信ください。

## 広報用画像

		
<p>1. 《唐招提寺御影堂障壁画 濤声》(部分) 1975 (昭和 50) 年 唐招提寺蔵</p>	<p>2. 《唐招提寺御影堂障壁画 山雲》(部分) 1975 (昭和 50) 年 唐招提寺蔵</p>	
		
<p>3. 《唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風》(部分) 1980 (昭和 55) 年 唐招提寺蔵</p>	<p>4. 唐招提寺 御影堂内</p>	
		
<p>5. 《揚州薫風》を制作中の東山魁夷</p>	<p>6. 《緑響く》1982 (昭和 57) 年 長野県立美術館蔵</p>	<p>7. 《白馬の森》1972 (昭和 47) 年 長野県立美術館蔵</p>

## 広報用画像申込書

## 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展

会期：2021年11月19日（金）—2022年1月16日（日）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてご返信ください。

○をつけて ください↓	番号	画像名	制作年	所蔵先
	1.	《唐招提寺御影堂障壁画 濤声》（部分）	1975（昭和50）年	唐招提寺蔵
	2.	《唐招提寺御影堂障壁画 山雲》（部分）	1975（昭和50）年	唐招提寺蔵
	3.	《唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風》（部分）	1980（昭和55）年	唐招提寺蔵
	4.	唐招提寺 御影堂内		
	5.	《揚州薫風》を制作中の東山魁夷		
	6.	《緑響く》	1982（昭和57）年	長野県立美術館蔵
	7.	《白馬の森》	1972（昭和47）年	長野県立美術館蔵

貴社についてお知らせください

貴社名 \_\_\_\_\_ / ご担当者名（所属部署） \_\_\_\_\_

媒体名（雑誌、番組名等） \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_ / TEL \_\_\_\_\_ / FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

掲載・放映の予定があればお知らせください 月 日（ ） に発行、または放映予定 ※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

## 関連イベント

参加申込はすべて10月1日（金）より申込フォームにて受け付けます。

当館ホームページ内のイベント情報ページからお申し込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

### (1) 講演会「東山魁夷の水墨画と唐招提寺御影堂障壁画(仮)」

- ①日 時 2021年11月28日（日）14：00～15：30
- ②会 場 ホール（地下1階）
- ③講 師 鶴見香織（東京国立近代美術館 主任研究員）
- ④定 員 60名（先着、要申込）※手話通訳つき
- ⑤参加費 無料（但し、観覧料が必要）

### (2) 担当学芸員によるギャラリートーク

- ①日 時 1) 11月20日（土）15：00～16：00 2) 12月26日（日）15：00～16：00
- ②会 場 レセプションルーム（3階）
- ③講 師 担当学芸員
- ④定 員 各回30名（先着、要申込）
- ⑤参加費 無料（但し、観覧料が必要）

※諸般の事情により、イベント内容の変更や入場を制限する場合があります。

## 同時開催

### ●会場：コレクション展示室（本館）

長野県立美術館名品選第Ⅱ期 会期：2021年10月28日（木）～2022年1月11日（火）、長野県立美術館名品選第Ⅲ期 会期：2022年1月13日（木）～3月15日（火）

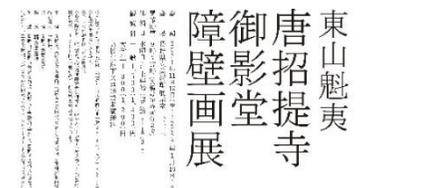
### ●会場：東山魁夷館

東山魁夷館 コレクション展第Ⅳ期 会期：2021年10月7日（木）～12月7日（火）、東山魁夷館 コレクション展第Ⅴ期 2021年12月9日（木）～2022年2月8日（火）

### ●観覧料：本館・東山魁夷館共通

一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円 ※企画展との共通券／一般2,000円、大学生1,600円

お問い合わせ・資料リクエスト先：長野県立美術館 広報・マーケティング室  
TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 E-MAIL：nam-pr@naganobunka.or.jp



HIGASHIYAMA KAI  
THE MURAI PAINTINGS  
IN THE MIE-DO AT TOSHIODAIJI



長野県立美術館  
Nagano Prefectural Art Museum

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展ポスター